

令和トラベル、『**2022年夏休み海外旅行の回復予測**』を発表

～今夏、2019年度比では約15%まで回復か 近場&少人数旅行が主流へ～

「あたらしい旅行を、デザインする。」をミッションにする株式会社令和トラベル(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:篠塚 孝哉)は、2022年の夏休みシーズン(7月-9月)に海外渡航者数がどう推移するのかの予測値を発表しました。さらには、アンケートを実施し、この夏の海外旅行の動向を調査しました。

試算の結果、今年の夏休み期間(7~9月)は、**2019年度比約15%の水準まで回復する**のではないかと予測しています。4月から旅行会社各社が海外ツアーの販売を再開し、GWにはハワイを中心に海外旅行者も戻ってきました。こうした回復の流れを受け、夏休み期間(7-9月)には、**4月の倍程度の回復度合い**まで戻るのではないかと予測しています。



▶調査方法について

各国の入国規制の状況を踏まえ、ワクチン接種状況や心理障壁の観点から日本人の渡航対象者数を推測する形で試算しました。新情報を加味し、3月に発表した海外旅行回復予測をアップデートしました。詳しい前提条件や算出方法は、以下、公式noteをご参照ください。

2022年3月14日 【調査】アフターコロナ 海外旅行の回復を予測してみた。

<https://note.com/reiwatravel/n/nc9a9f4959d0d>

■調査の背景

このゴールデンウィークには、海外へ旅行する人が大幅に増え、各メディアでも、‘海外旅行の再開’が大きく取り上げられました。実際、JALグループは、「ハワイ便の予約が2021年のゴールデンウィークのおよそ9倍になっている」と発表*1しました。

そして、さらなる水際対策の緩和が発表され、2022年6月1日から下記「青」区分に該当する98の国と地域は、今まで入国・帰国時に行っていた入国時検査と自宅待機を、ワクチン3回目接種の有無に関わらず実施されないこととなりました。*2

5/26発表 | 日本帰国時のPCR検査が一部不要に！

区分 (対象国エリア)	ワクチン接種証明書	出国前72時間以内の PCR検査	帰国時のPCR検査	帰国後の待機期間
赤	なし	PCR検査あり	PCR検査あり	3日間施設待機 (+施設検査陰性) 3日間自宅待機+自主検査陰性 (検査を受けない場合は7日間隔離)
	あり			
黄	なし	PCR検査あり	PCR検査あり	待機なし+検査なし
	あり		PCR検査なし	
青	なし	PCR検査あり	PCR検査なし	
	あり			

アメリカ (ハワイ、グアム含む) ・カナダ ・メキシコ ・韓国 ・中国 ・台湾 ・タイ ・香港 ・シンガポール ・マレーシア ・インドネシア
フィリピン ・カンボジア ・イギリス ・ドイツ ・フランス ・オーストリア ・スイス ・スペイン ・オランダ ・ギリシャ
イタリア ・クロアチア ・ドバイ ・ニュージーランド ・オーストラリアなどを含む98ヶ国が青の対象の国です！✂

情報は2022年5月27日時点のものです。詳細や最新情報は、渡航前に必ず各自でご確認ください。

 NEW T

そうした動きを受け、今年3月に出した海外渡航の回復予測を刷新し、この夏の動向予測と弊社SNSアカウントで実施した意向調査を実施いたしました。

*1: 日本航空株式会社「2022年度 ゴールデンウィーク期間ご利用実績」
<https://press.jal.co.jp/ja/release/202205/006656.html>

*2: 厚生労働省水際対策に係る新たな措置について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

■夏休みの海外旅行の意向調査

今回、この夏休みの海外旅行の動向について、当社のTwitter、Instagramアカウントでアンケート調査を実施いたしました。

▶アンケート方法について

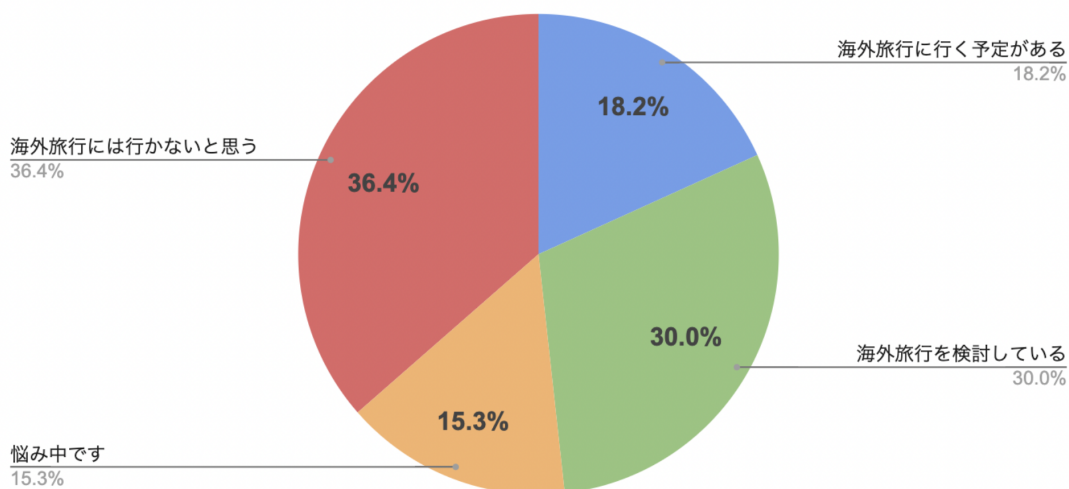
実施期間：2022年5月22日-5月24日

実施アカウント：

- Twitter: https://twitter.com/newt_travel
- Instagram: https://www.instagram.com/newt_guide/

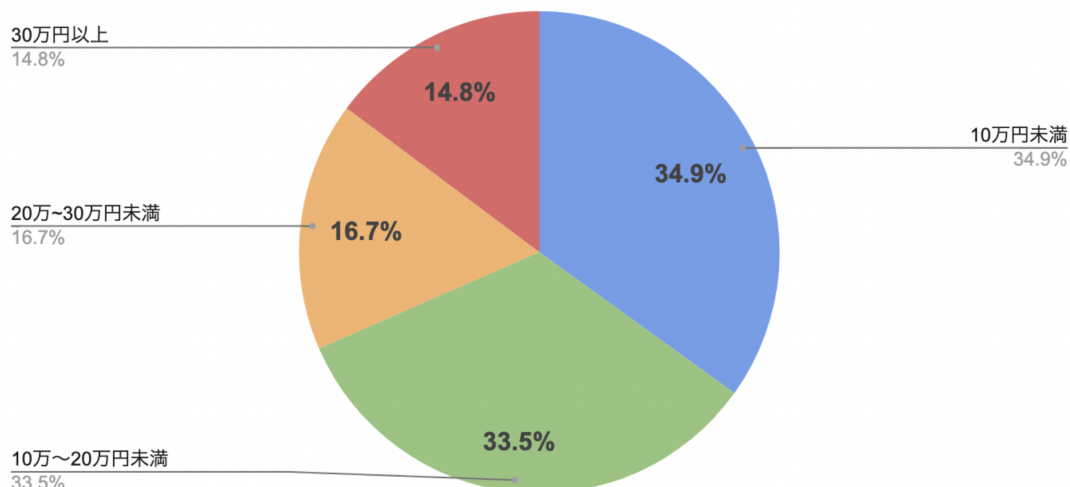
有効回答数：計1,055

Q1.この夏、海外旅行にいきますか？



この夏の海外旅行に行く予定があるという方は18.2%となり、行かないという方が36.4%、検討中・悩み中という方が約半数の45.3%という結果となりました。行かないと思う方が最も多いものの、また、悩み中・検討中という方も半数近くおり、今後の海外旅行の入出国の緩和、円安の状況等によっては、大きく動く可能性もあります。

Q2.ひとりあたりの予算感はどのくらいですか？



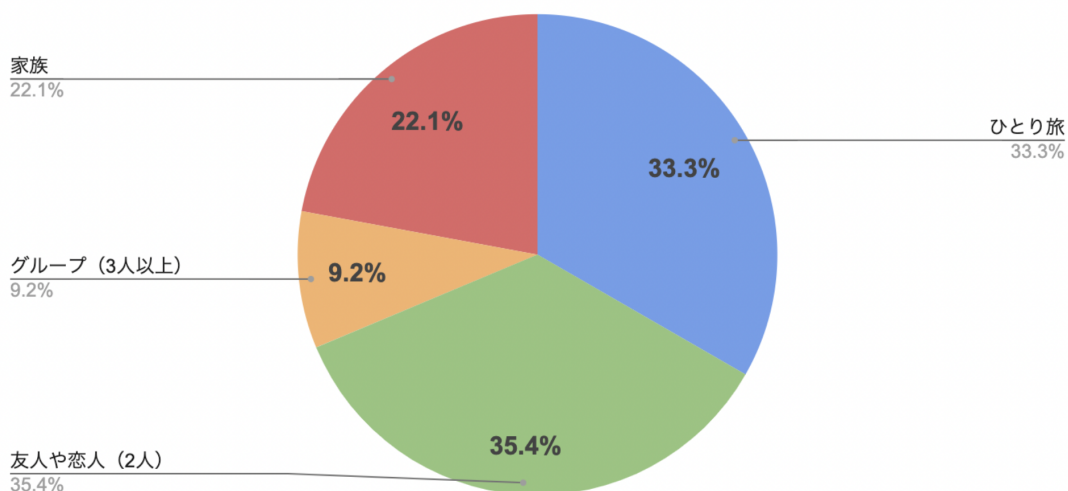
Q1で海外旅行に行く予定があると回答された方への追加質問で、ひとりあたりの予算感はどのくらいなのかについて、10万円未満が34.9%、10万~20万円未満が33.5%、20万~30万円未満が16.7%、30万円以上が14.8%という結果になりました。20万円未満で約7割となり、遠方ではなく、ハワイなどのリゾート地、渡航費を抑えたアジアなどの近隣諸国での滞在を想定した予算感となっていると予想されます。

▶10万円未満*3でも行ける国・地域*4
グアム、シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナムなど

*3: 2022年7月17日~20日における最安値の航空券+2つ星ホテル(2名1室)の3泊価格を参照
(2022年5月27日時点)

*4: ワクチン3回接種で入出国隔離なしかつ青色区分(帰国時の入国検査なし)を対象

Q3.どなたと行く予定ですか？



Q1で海外旅行に行く予定があると回答された方への追加質問で、海外旅行へはどなたと行く予定ですかについて、ひとり旅が33.3%、友人や恋人(2人)が35.4%、グループ(3人以上)が9.2%、家族が22.1%という結果になりました。入出国時にPCR検査で陽性の場合、出国できなかったり、現地で陽性になった場合は滞在延期を余儀なくされたりとグループで動くリスクがあるため、ひとり旅もしくは友人・恋人との少人数旅行が多くなっていると予想されます。また、PCR検査料金なども往復で1名3万円ほどかかったりと家族で動くにしてもコロナ前までの海外旅行に比べると割高になっていることも起因している可能性があります。

■身近なリゾート地やアジア圏への少人数旅行が主流に

今回の調査を受け、ゴールデンウィークを経て、一気に「海外旅行の回復」の波が大きくなっていることが浮き彫りになりました。

一方で、予算は、20万円以下で計画する方が多い為、ハワイなど、渡航者の多い身近なリゾート地や、近場のアジア圏に人気が高まりそうです。また、新型コロナの影響で、グループ旅行や団体旅行ではなく、ひとり旅や少人数での旅行が中心となってくることが見込まれます。



▶詳しくは令和トラベル公式noteをご覧ください:

【調査】2022夏休み 海外旅行の回復を予測してみた。

<https://note.com/reiwatravel/n/na6f87cf042aa>

■会社概要

令和トラベルは「あたらしい旅行を、デザインする。」をミッションに、海外旅行におけるあたらしい体験や、あたらしい社会価値の提供を目指すデジタルトラベルエージェンシーです。2022年4月より、海外旅行予約アプリ『NEWT』を提供しています。旅行業界における予約や管理業務のDXを最大化し、これまでになかった“かんたん・おトク・えらべる・あんしん”なパッケージツアー等を提供していきます。海外旅行というエクスペリエンスを通じた社会価値の創造に挑戦します。

名称 : 株式会社令和トラベル

所在地 : 東京都渋谷区桜丘町16-13 桜丘フロントⅡビル 6F

代表者 : 代表取締役社長 篠塚 孝哉

創業日 : 2021年4月5日

事業内容 : 旅行代理店業

登録免許 : 第一種旅行業(観光庁長官登録旅行業:第2123号)

会社HP : <https://www.reiwatravel.co.jp/>

『NEWT』ブランドページ : <https://newt.net/brand>

公式SNS

・LINE : <https://lin.ee/ZKchfbF>

・Twitter : https://twitter.com/newt_travel

・Instagram : https://www.instagram.com/newt_travel/

・TikTok : https://www.tiktok.com/@newt_travel

・YouTube : https://www.youtube.com/channel/UCdM6a4_8TQCR03ShAGU8CyQ